

## 第2章 高齢者を取り巻く現状

## 第2章 高齢者を取り巻く現状

### 1. 高齢者人口等の推移

#### (1) 人口の推移

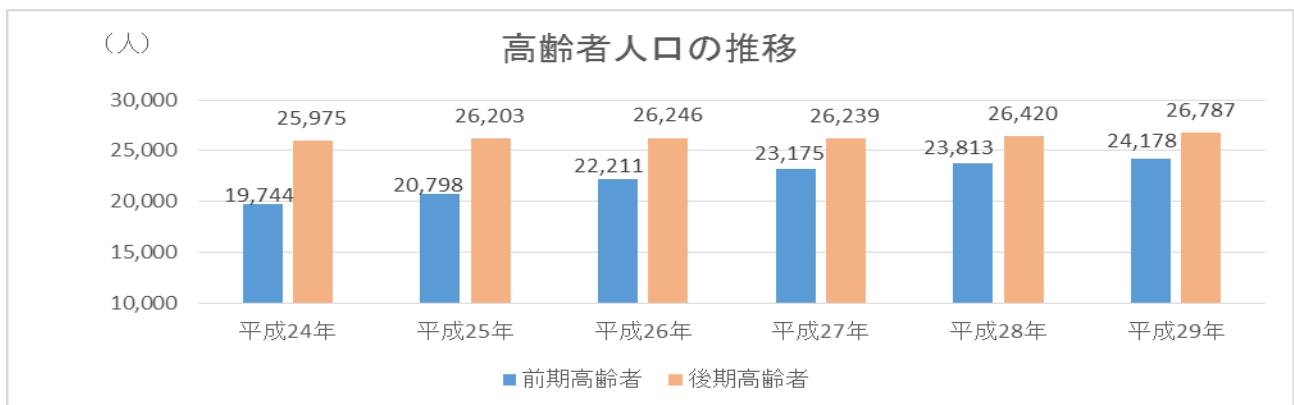
出雲市の人口は平成29年(2017)9月末現在で175,165人、高齢者人口は50,965人で、近年、昭和22年(1947)～24年(1949)生まれの方が65歳に到達したため、前期高齢者の伸びが大きくなっています。また、市全体の高齢化率は29.1%であり、地域別でみると25%台から42%台まで大きな差がある状況です。

【出雲市の人口推移（平成24～29年）】 (人、%)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	伸び率
人口	174,840	174,838	174,746	174,804	175,026	175,165	0.2
高齢者人口	45,719	47,001	48,457	49,414	50,233	50,965	11.5
前期(65歳～74歳)	19,744	20,798	22,211	23,175	23,813	24,178	22.5
後期(75歳以上)	25,975	26,203	26,246	26,239	26,420	26,787	3.1
高齢化率	26.1	26.9	27.7	28.3	28.7	29.1	—

※各年、9月末時点。伸び率は平成24年⇒29年の増減割合。

資料：住民基本台帳



【地域別の人口及び高齢者数（平成29年9月末）】

(人、%)

地域	人口	高齢者人口	前期後期別人数・割合		高齢化率
			前期高齢者	後期高齢者	
出雲地域	93,441	24,210	11,626 (48.0)	12,584 (52.0)	25.9
平田地域	25,672	8,689	4,098 (47.2)	4,591 (52.8)	33.8
佐田地域	3,450	1,449	595 (41.1)	854 (58.9)	42.0
多伎地域	3,589	1,417	655 (46.2)	762 (53.8)	39.5
湖陵地域	5,359	1,863	893 (47.9)	970 (52.1)	34.8
大社地域	14,760	5,409	2,480 (45.8)	2,929 (54.2)	36.6
斐川地域	28,894	7,928	3,831 (48.3)	4,097 (51.7)	27.4
合計	175,165	50,965	24,178 (47.4)	26,787 (52.6)	29.1

## (2) 世帯の状況

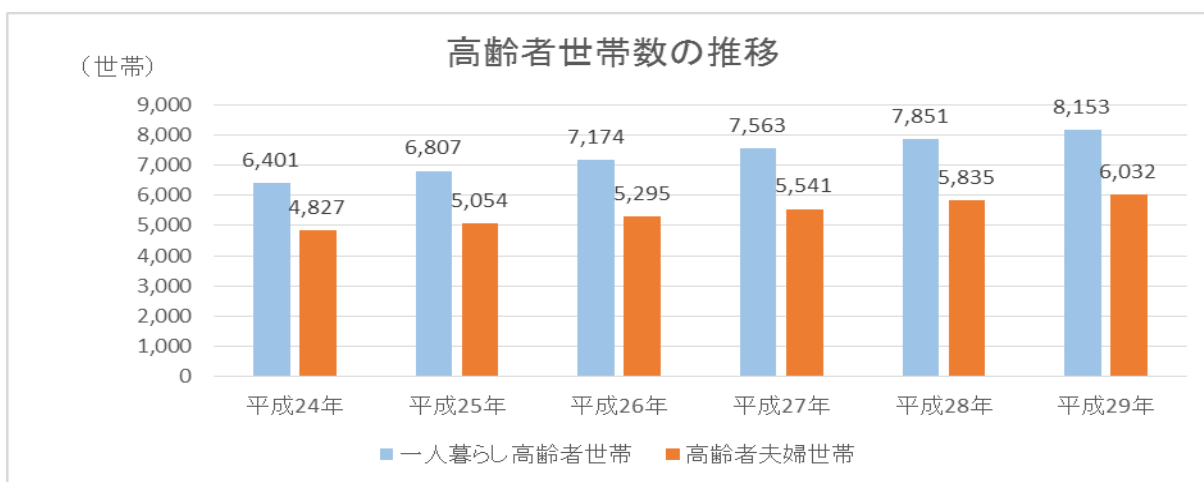
出雲市の世帯数は平成29年(2017)3月末現在で63,920世帯、高齢者のいる世帯数は33,799世帯で、近年増加傾向です。特に一人暮らし高齢者世帯や高齢者夫婦世帯が、大きく伸びている状況です。

【出雲市の世帯数の推移(平成24~29年)】

(世帯、%)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	伸び率
世帯数	59,857	60,395	61,052	62,038	63,231	63,920	6.8
高齢者のいる世帯	30,725	31,536	32,224	32,860	33,393	33,799	10.0
一人暮らし 高齢者世帯	6,401	6,807	7,174	7,563	7,851	8,153	27.4
高齢者夫婦 世帯	4,827	5,054	5,295	5,541	5,835	6,032	25.0

※各年3月末時点。伸び率は平成24年⇒29年の増減割合



【地域別高齢者世帯状況(平成29年3月末)】

(世帯、%)

地域	世帯数	高齢者のいる 世帯(割合)	一人暮らし高齢者世帯(割合)			高齢者夫婦世 帯(割合)
			男性	女性	計	
出雲地域	35,932	16,223(45.1)	1,188	3,079	4,267(11.9)	3,153(8.8)
平田地域	8,488	5,724(67.4)	360	814	1,174(13.8)	823(9.7)
佐田地域	1,197	948(79.2)	79	161	240(20.1)	169(14.1)
多伎地域	1,333	929(69.7)	68	181	249(18.7)	186(14.0)
湖陵地域	2,061	1,289(62.5)	108	300	408(19.8)	239(11.6)
大社地域	5,351	3,611(67.5)	279	659	938(17.5)	683(12.8)
斐川地域	9,558	5,075(53.1)	268	609	877(9.2)	779(8.2)
合計	63,920	33,799(52.9)	2,350	5,803	8,153(12.8)	6,032(9.4)

※( )内は世帯数に対する割合

### (3) 要支援・要介護認定者の推移（第1号被保険者）

平成24年(2012)から26年(2014)にかけては、認定者数が大きく伸び、認定率も増加傾向でしたが、ここ近年は認定者数の伸びが緩やかとなり認定率も横ばいとなっています。

介護度別認定者の状況は、要介護1・2が増えている一方、要介護5は横ばい傾向となっています。要因として、介護サービス基盤が充実してきたことに伴い、早期に介護認定・介護サービスを受ける高齢者が増え、全体として重度化の防止につながっていることが推測されます。

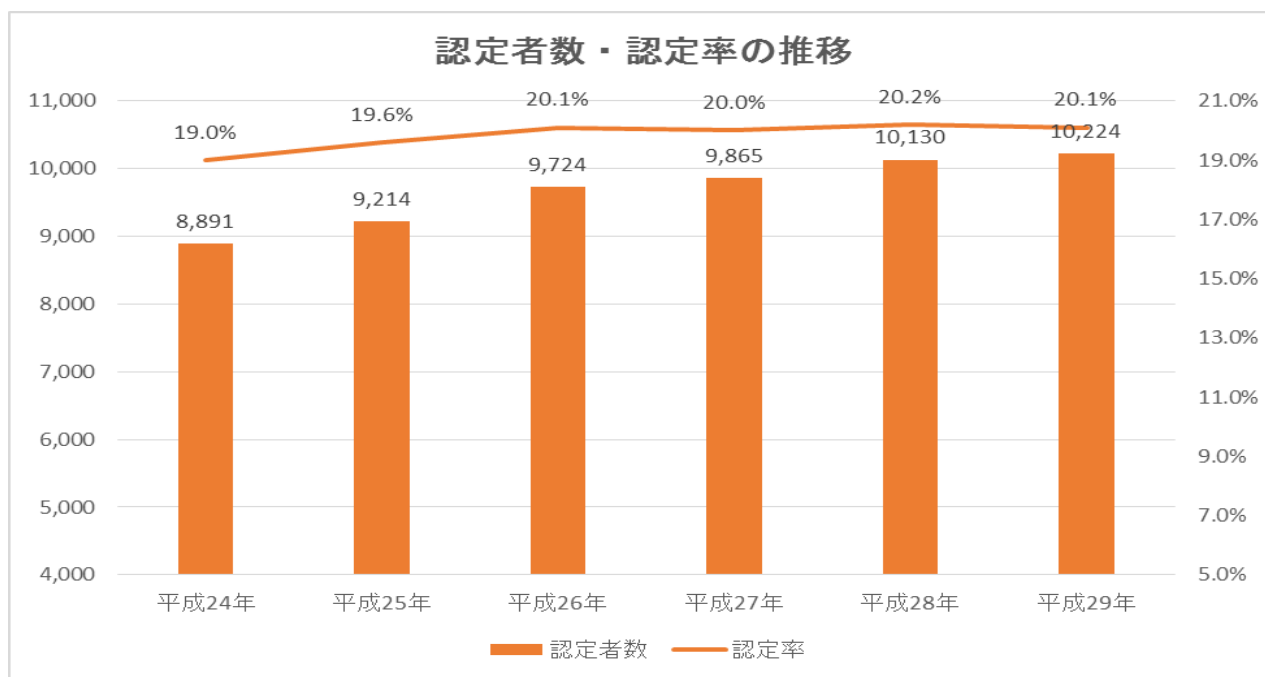
また、要支援認定者については、平成29年度(2017)から始まった「介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）」への移行が進み、減少しています（※）。

（※）従来要支援認定の方が受けていた訪問や通所のサービスが総合事業に移行し、簡易なチェック（基本チェックリスト）により生活機能の低下が認められた高齢者については、要支援認定を受けずにこれらのサービスが利用できるようになりました。（本市における総合事業の取組については、第5章 1. に掲載しています。）

【出雲市の介護度別認定者の推移（平成24～29年）】 (人)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
要支援1	787	840	902	878	851	810
要支援2	1,045	1,122	1,198	1,194	1,242	1,214
要介護1	1,902	2,020	2,205	2,339	2,388	2,445
要介護2	1,845	1,939	2,017	2,046	2,168	2,238
要介護3	1,341	1,373	1,482	1,542	1,490	1,511
要介護4	1,047	1,043	1,054	989	1,069	1,146
要介護5	924	877	866	877	922	860
合計	8,891	9,214	9,724	9,865	10,130	10,224
高齢者人口	45,719	47,001	48,457	49,414	50,233	50,965
認定率	19.4%	19.6%	20.1%	20.0%	20.2%	20.1%

※各年9月末時点



## 2. 高齢者人口等の将来推計

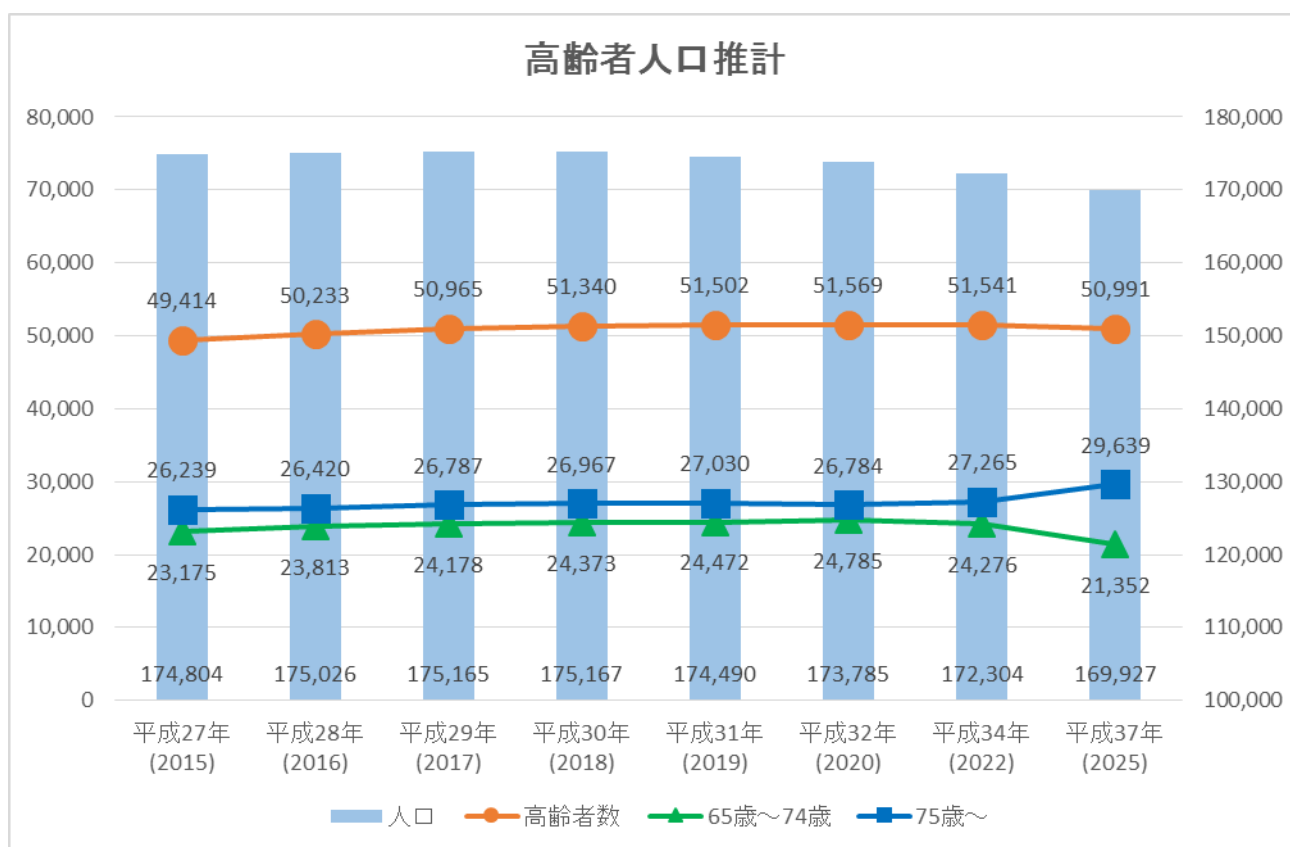
### (1) 人口の推計

本計画においては、住民基本台帳人口を基礎とし、自然動態や社会動態を考慮し人口推計を行いました。

本市の人口は近年微増していますが、将来は長期にわたって緩やかに減少するものと思われます。その中で高齢者数は平成32年(2020)頃までは増加しますが、その後は減少に転じる見込みです。また、前期高齢者数は高齢者数とほぼ同様な傾向を示しますが、後期高齢者数は団塊の世代が75歳に到達する平成34(2022)～37年(2025)頃にかけて急激に増加すると見込まれます。

【出雲市の高齢者人口の推計（平成30～37年）】 (人)

	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	平成32年 (2020)	平成34年 (2022)	平成37年 (2025)
人口	174,804	175,026	175,165	175,167	174,490	173,785	172,304	169,927
高齢者数	49,414	50,233	50,965	51,340	51,502	51,569	51,541	50,991
65歳～74歳	23,175	23,813	24,178	24,373	24,472	24,785	24,276	21,352
75歳～	26,239	26,420	26,787	26,967	27,030	26,784	27,265	29,639
高齢化率	28.3%	28.7%	29.1%	29.3%	29.5%	29.7%	29.9%	30.0%



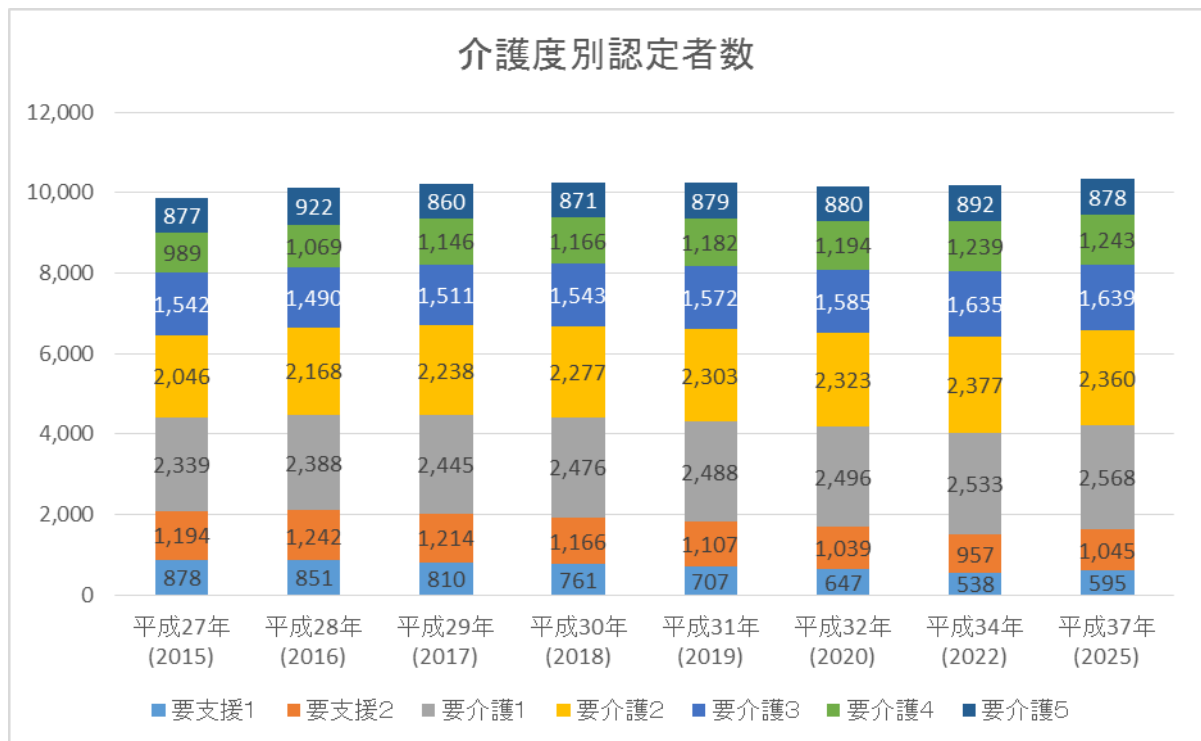
(2) 要支援・要介護認定者の推計（第1号被保険者）

要支援・要介護認定者数は、高齢者数の増加に伴ない要介護認定者が増加する一方、総合事業の影響により要支援認定者が減少し、全体としてはほぼ横ばいで推移し、平成37年(2025)前後から増加すると推計しています。

なお、本推計は、認定者数の1年ごとの変動率を、男女別・年代別・介護度別に算出し、近年におけるこれらの平均値等を用いて算定しています。

【出雲市の認定者数推計（平成30～37年）】 (人)

	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	平成32年 (2020)	平成34年 (2022)	平成37年 (2025)
要支援1	878	851	810	761	707	647	538	595
要支援2	1,194	1,242	1,214	1,166	1,107	1,039	957	1,045
要介護1	2,339	2,388	2,445	2,476	2,488	2,496	2,533	2,568
要介護2	2,046	2,168	2,238	2,277	2,303	2,323	2,377	2,360
要介護3	1,542	1,490	1,511	1,543	1,572	1,585	1,635	1,639
要介護4	989	1,069	1,146	1,166	1,182	1,194	1,239	1,243
要介護5	877	922	860	871	879	880	892	878
計	9,865	10,130	10,224	10,260	10,238	10,164	10,171	10,328



### 3. 介護保険事業等の現状

第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画期間中の介護保険事業及び高齢者福祉事業について、その状況は次のとおりです。

#### (1) 介護サービス利用状況

○居宅（介護予防）サービス利用者数

単位：人／月

	平成27年度(2015)	平成28年度(2016)
訪問介護	1,775	1,770
訪問入浴介護	103	92
訪問看護	560	598
訪問リハビリテーション	445	509
通所介護	3,369	2,669
通所リハビリテーション	724	739
福祉用具貸与	4,033	4,268
短期入所生活介護	725	742
短期入所療養介護	15	15
居宅療養管理指導	553	644
特定施設入居者生活介護	308	337
特定福祉用具購入費	104	102
住宅改修費	90	88
居宅介護支援・介護予防支援	6,155	6,366

○地域密着型（介護予防）サービス利用者数

単位：人／月

	平成27年度(2015)	平成28年度(2016)
認知症対応型通所介護	237	223
小規模多機能型居宅介護	296	320
認知症対応型共同生活介護	506	513
地域密着型介護老人福祉施設	76	79
地域密着型通所介護		941
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	22

○施設サービス利用者数

単位：人／月

	平成27年度(2015)	平成28年度(2016)
介護老人福祉施設	933	929
介護老人保健施設	621	628
介護療養型医療施設	2	2

(2) 介護給付費の状況

単位：千円、%

区 分	平成27年度(2015)			平成28年度(2016)			実績比 H28/H27
	計画(千円)	実績(千円)	計画 対比	計画(千円)	実績(千円)	計画 対比	
居宅介護サービス費	6,813,950	6,901,543	101	5,854,624	6,362,759	109	92
介護予防サービス費	736,177	637,658	87	793,741	654,741	82	103
地域密着型サービス費	2,723,026	2,688,721	99	4,157,132	3,575,175	86	133
地域密着型介護予防サービス費	21,784	11,090	51	28,403	8,722	31	79
施設サービス費	4,632,553	4,653,996	100	4,834,647	4,643,525	96	100
高額介護サービス費	324,000	264,940	82	324,000	277,396	86	105
高額医療合算介護サービス費	44,000	45,629	104	44,000	37,203	85	82
特定入所者介護サービス費	620,000	656,964	106	680,000	621,216	91	95
審査支払手数料	22,800	22,588	99	23,940	21,006	88	93
合計	15,938,290	15,883,127	100	16,740,487	16,201,744	97	102

◆居宅介護サービス

居宅介護サービス費の平成28年度(2016)の実績額は63億63百万円で、対前年比92%となっています。伸びが減少した大きな要因は、平成28年(2016)4月から定員18人以下の通所介護が地域密着型サービスへ移行したためです。

◆介護予防サービス

介護予防サービス費の平成28年度(2016)の実績額は6億55百万円で、対前年比103%になっています。要支援認定者の増加により、介護予防訪問リハビリや介護予防福祉用具貸与が大きく伸びています。

◆地域密着型サービス

地域密着型サービス費の平成28年度(2016)の実績額は35億75百万円で、対前年比133%と大きく伸びています。これは、平成28年(2016)4月から地域密着型通所介護の創設されたこと、小規模多機能型居宅介護が2か所整備されたことが主な要因です。

◆地域密着型予防サービス

地域密着型予防サービス費の平成28年度の実績額は872万円で、対前年比79%と大きく減少しています。

◆施設サービス

施設サービス費の平成28年度(2016)の実績額は46億44百万円で、対前年比100%となっています。介護老人福祉施設の増床分(60床)の開設が平成29年度(2017)になったため、前年並みとなっています。



### (3) 介護給付費の推移

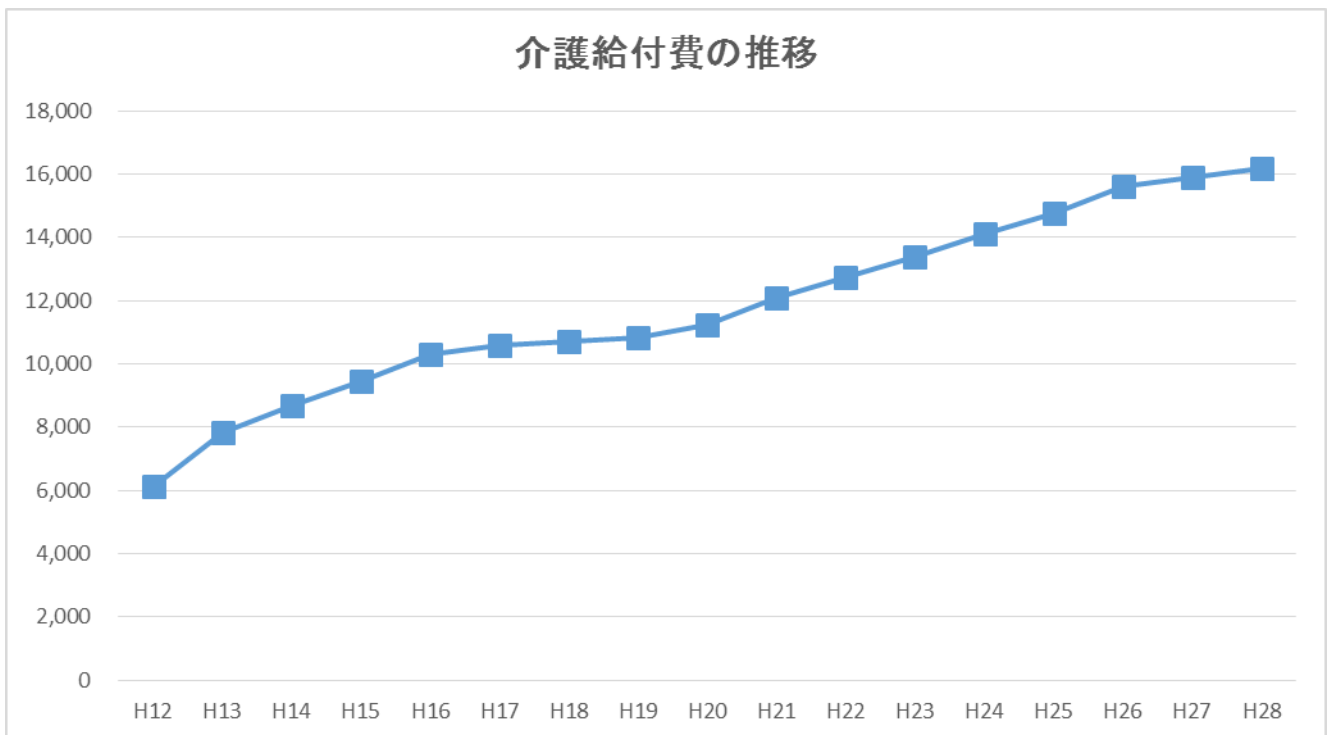
介護保険制度の開始直後（平成 12(2000)～16 年度(2004)）は、制度の普及が急速に進み、介護給付費は急速に上昇しました。平成 17 年度(2005)以降の数年間は伸びがやや鈍化しましたが、平成 20 年度(2008)以降は地域密着型サービスの基盤整備が進んだこともあり、再び上昇傾向となりました。ここ近年は約 1～2%の緩やかな伸びで推移しています。

【出雲市の介護給付費の推移（平成12年～28年度）】

単位：百万円

年 度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
給付費	6,143	7,853	8,668	9,449	10,313	10,579	10,733	10,824	11,244

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
給付費	12,094	12,736	13,379	14,125	14,758	15,622	15,883	16,202



(4) 介護サービス基盤の整備

○介護保険施設の整備

種 別	施設名	開設月	整備数	法人名	所在地
介護老人福祉施設	薫風園	H29.4	30床	社会福祉法人 出雲南福祉会	大津町 3620-1
	湖水苑	H29.4	30床	社会福祉法人 壽光会	湖陵町差海 318-1

※合計整備数 介護老人福祉施設 15カ所(1010床)

地域密着型介護老人福祉施設 3カ所(78床)

○地域密着型サービスの整備

種 別	施設名	開設月	圏域	法人名	所在地
小規模多機能型 居宅介護	きいちご倶楽部	H28.4	第二	社会福祉法人 星隆会	塩冶町南町 5-1-3
	M I L K新	H29.4	斐川東	株式会社 Care Innovation	斐川町上庄原 1649

※合計整備数 17カ所

(5) 地域支援事業

①一次予防事業

○介護予防普及啓発事業

健康学習では、運動・栄養・口腔ケアの指導を行う講師を集いの場に派遣しました。

認知症予防教室は、各地域とも認知症に効果的と考えられるプログラムを取り入れて実施しました。教室終了後も自主的な活動として継続できるよう支援しました。

介護予防体操放送事業では、出雲市いきいき体操を定時に放送することで、運動習慣の定着を図りました。

事業名	地域名	平成 28 年度 (2016)		内容	平成 27 年度 (2015)		平成 28 年度 (2016)	
		実施主体			回数	延参加者数	回数	延参加者数
健康学習・健康教室	出雲	直営	高齢者の集まりや自主グループを対象とした介護予防についての講話・体操指導	15	247	14	168	
	平田			11	430	10	382	
	佐田			1	16	1	16	
	多伎			2	29	2	21	
	湖陵			1	59	2	63	
	大社			1	14	2	39	
	斐川			6	69	1	7	
認知症予防教室	佐田	NPO 法人 スサノオの風	3A方式プログラム (指運動、リズム運動等)の実施	21	245	21	248	
	多伎	NPO 法人ボラン ティアネットたき		21	237	21	316	
	湖陵			21	245	21	101	
	大社 平田	島根県立大学	回想法による認知症 予防プログラムの実 施	国富地区		佐香地区		
			19	434	18	337		
	出雲	NPO 法人生活習慣病 予防研究センター	運動を主にした認知 症予防プログラムの 実施	神門・稗原地区		神門・乙立地区		
				30	365	29	340	
介護予 防体操 放送	全域	出雲ケーブルビジ ョン ひらたCATV	ケーブルテレビでの 介護予防体操の放送	485 234		521 236		

## ○地域介護予防活動支援事業

《介護予防サポーター養成等》

平成 27 年度(2015)から地域の介護予防の取組を支援するボランティアを養成するため、介護予防サポーター養成講座を開講しました。

いきいきUP！健康教室では、壮年期から高齢期までの継続した健康づくり及び介護予防の推進を目的に、地区ごとに、運動・栄養・口腔ケア等のプログラムを取り入れた教室を実施しました。

教室終了後も自主的な活動として継続されるよう支援を図りました。

事業名	地域名	平成 28 年度(2016) 実施主体	内容	平成 27 年度(2015)		平成 28 年度(2016)	
				回数	延参加者数	回数	延参加者数
介護予防サポーター養成	全域	直営	健康づくりや介護予防に関する知識を持って主体的に活動するサポーターの養成	9	232	9	178
高齢者クラブリーダー	平田 斐川	直営	単位クラブの健康づくりの中心となるリーダーの研修実施	4	99	2	26
いきいきUP！健康教室	全域	NPO法人出雲スポーツ振興21 NPO法人スポーツひかわ	運動習慣の普及を中心に栄養改善、口腔ケアプログラムの実施	3 会場 神西、湖陵、伊波野		3 会場 塩冶、川跡、出東	
				36	608	36	502

《ふれあいサロン》

ふれあいサロンは、住民が主体的に運営する介護予防事業として市民に定着しており、月1回以上の定期的な開催を目指し開催しました。

地域	委託先	平成 27 年度(2015)			平成 28 年度(2016)		
		サロン数	開催回数	延参加者数	サロン数	開催回数	延参加者数
出雲	出雲市社会福祉協議会	226	1,447	25,184	221	1,436	27,682
平田		59	960	10,038	63	999	9,941
佐田		14	127	2,277	14	138	2,410
多伎	NPO 法人 ボランティアネットたき	14	159	2,859	15	168	2,801
湖陵	出雲市社会福祉協議会	7	167	2,065	6	128	1,985
大社		57	347	5,359	56	336	5,461
斐川		10	201	5,237	10	178	5,267
<b>合計</b>		<b>387</b>	<b>3,408</b>	<b>53,019</b>	<b>385</b>	<b>3,383</b>	<b>55,547</b>

## ②二次予防事業

### ○通所型介護予防事業

「要支援・要介護状態になる恐れのある高齢者（二次予防事業対象者）」を対象に転倒骨折予防等のための下肢筋力向上を中心とした教室を開催しました。

介護保険法の改正に伴い、二次予防事業対象者を把握するための基本チェックリストの送付が廃止になったことから、全体的に教室への参加者数は伸び悩みました。

	日常生活 圏域	平成27年度(2015)						平成28年度(2016)					
		総合型			筋トレ・水中等			総合型			筋トレ・水中等		
		会場数	開催数	延参加者数	会場数	開催数	延参加者数	会場数	開催数	延参加者数	会場数	開催数	延参加者数
出雲	6	6	238	2,928	3	146	1,149	6	253	2,451	3	145	1,001
平田	3	2	67	620	3	132	999	2	67	480	3	130	750
佐田	1	1	44	446	2	100	564	2	46	557	1	72	383
多伎	1	1	44	617				1	44	562			
湖陵	1												
大社	1	1	46	468	1	50	455	1	46	318	1	47	348
斐川	2	1	46	370	1	72	389	1	48	496	1	71	366

### ○訪問型介護予防事業

心身の状況等により、通所系のサービスの利用が困難な二次予防事業対象者に対して、理学療法士や看護師が訪問し、生活機能向上に向けたプログラムを行いました。

年度	平成 27 年度(2015)	平成 28 年度(2016)
延べ訪問件数	6 件	34 件

### 二次予防事業対象者把握・通所型介護予防事業・訪問型介護予防事業

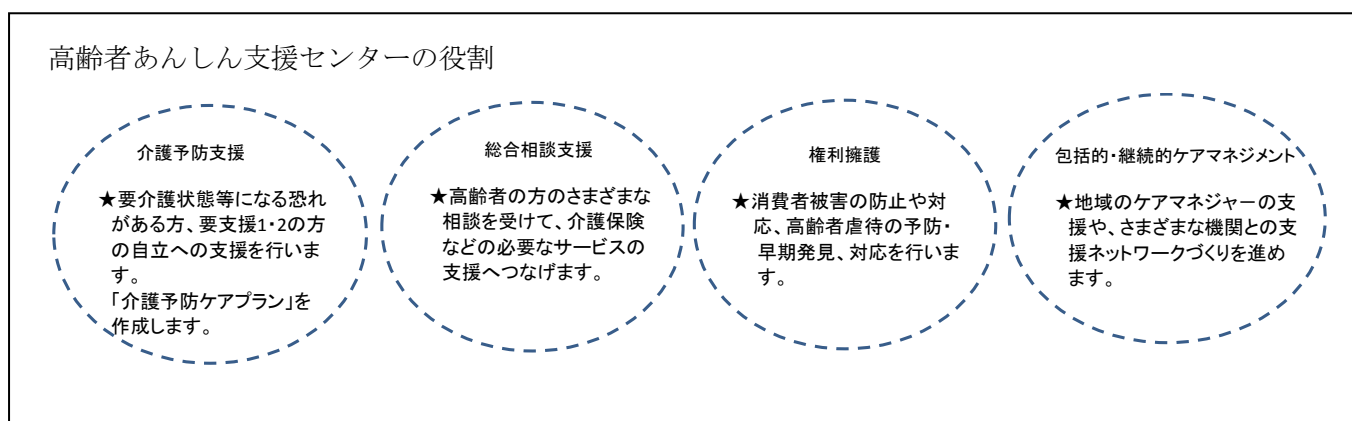
年 度	平成 27 年度(2015)	平成 28 年度(2016)
二次予防事業参加者	525 人	454 人
率 (参加者数/高齢者数)	1.05%	0.90%
通所型事業箇所数	22 か所	22 か所
通所型事業参加可能数	625 人	563 人
訪問型事業箇所数	1 か所	1 か所

### ③高齢者あんしん支援センターの状況

高齢者あんしん支援センター（出雲市地域包括支援センター）は、高齢者に関する医療や介護、福祉の身近な相談窓口です。

高齢者あんしん支援センターでは、包括的支援事業（介護予防支援、総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント）及び認知症のケアを一体的に実施しており、課題解決までの継続的な支援をワンストップサービスで行い、高齢者の在宅生活を支える中核機関としての役割を果たしています。

近年は、複合的な課題を抱えた世帯や一人暮らし高齢者世帯の増加等に伴い相談の内容も多様化しており、問題解決に時間がかかる事例も増えています。



### ○組織形態

第6期事業計画の高齢者あんしん支援センターは、委託法人を出雲市社会福祉協議会1か所とし、出雲を統括センター、平田・佐田・多伎・湖陵・大社・斐川をサブセンターとして、担当地域は旧市町単位としました。

機能	名称	委託法人
統括センター	出雲高齢者あんしん支援センター	出雲市社会福祉協議会
サブセンター	平田高齢者あんしん支援センター	
	佐田高齢者あんしん支援センター	
	多伎高齢者あんしん支援センター	
	湖陵高齢者あんしん支援センター	
	大社高齢者あんしん支援センター	
	斐川高齢者あんしん支援センター	

## ○人員配置の年次推移

包括的支援事業を実施する3職種（主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師等）の人員配置は、平成29年(2017)10月現在、第6期事業計画数を確保しています。

	第6期 計画数	平成	平成	平成29年(2017)10月1日配置				
		27 年度 (2015)	28 年度 (2016)	センター長 等事務	社会福祉士	主任ケアマ ネジャー	保健師等	計
出雲	27	14	15	2	4	6	4	16
平田		3	3	0	1	2	1	4
佐田		4	4	0	1	1	1	3
多伎								
湖陵		3	3	0	1	1	1	3
大社								
斐川								
合計			28	30	2	9	11	8

\* 毎年度末月の人数

## ○介護予防支援（予防給付のケアマネジメント）

高齢者あんしん支援センターは、介護予防支援事業所としての指定を受け要支援1、2の認定者のケアプランの作成を行います。

認定者数が増加していますが、ケアマネジャーの人員不足もあり、居宅介護支援事業所への委託件数が3割を超えている状況です。

\* 毎年度末月の給付実績状況

予防給付 ケアプラン	平成27年度(2015)			平成28年度(2016)		
	総数	高齢者あんしん 支援センター作成	居宅介護 支援事業所 委託数	総数	高齢者あんしん 支援センター作成	居宅介護 支援事業所 委託数
出雲	794	482	312	818	481	337
平田	267	202	65	263	208	55
佐田	66	25	41	78	27	51
多伎	62	54	8	65	53	12
湖陵	71	68	3	71	64	7
大社	178	106	72	199	113	86
斐川	172	91	81	193	106	87
合計	1,610	1,028	582	1,687	1,052	635

## ○高齢者あんしん支援センターの事業評価

包括的支援事業の総合評価は次のとおりです。

毎年度、地域包括支援センター運営協議会において、前年度の活動状況や年度ごとの重点目標等、高齢者あんしん支援センターの運営について内容や課題等を検討しています。

包括的支援事業	介護予防ケアマネジメント	<p>高齢者宅を訪問した際、必要に応じて、介護予防事業への参加勧奨を行うなど介護予防の普及に努めている。</p> <p>しかし、介護予防・日常生活支援総合事業への移行の過度期ということもあり、二次予防事業の参加者が少なかった。</p> <p>市との連携や、事業所に対する説明会の開催により、スムーズに介護予防・日常生活支援総合事業へ移行することができた。</p> <p>平成 28 年度(2016)に新たな「通いの場」の立ち上げや、「通いの場」同士の交流会を開催することができた。</p> <p>今後も「通いの場」の運営・立ち上げ支援について市と連携が必要である。</p>
	総合相談支援	<p>さまざまな相談に 3 職種を中心にチームアプローチで対応している。今後も相談があるのを待つだけでなく、積極的に地域に出かけ、相談対応に取り組むことが重要である。</p> <p>処遇困難ケース等は、必要に応じ、地域ケア会議を開催し課題解決に取り組むことが重要である。</p>
	権利擁護	<p>高齢者虐待に関する相談等に対し、「出雲市高齢者虐待対応マニュアル」に沿った対応を行っている。市や関係機関との連携により、本人だけでなく、虐待をする側（家族等）に対しても継続的な支援を行っている。</p>
	包括的・継続的ケアマネジメント	<p>ケアマネジャーからの困難事例の相談について、主任ケアマネジャーを中心に対応している。近年、高齢者やその家族に複雑な課題を抱えた事例(経済的困窮・家族に障がい者がいる等)が増加しており、関係機関と連携し対応している。</p> <p>平成 28 年度(2016)に誰もが地域ケア会議を開催できるよう「地域ケア会議のしおり」を作成し、スキルアップを図った。</p>
	認知症ケアの取組	<p>認知症ケアパスのワークショップを 7 地区で開催し、認知症の啓発に繋がった。今後も、更に各地区で展開していく必要がある。</p> <p>平成 28 年(2016)7 月に設置した認知症初期集中支援チームを含め、関係機関との連携強化の取組が重要である。</p>



○高齢者あんしん支援センター業務実績

		平成27年度(2015)	平成28年度(2016)
二次予防事業参加者数(人)		525	454
二次予防事業対象者の発生数(新規参加数)		230	152
〈内訳〉	本人・家族からの相談	173	112
	特定健康診査等の結果	0	2
	医療機関からの情報提供	0	0
	民生委員・地域住民からの情報提供	6	11
	要介護認定非該当者等	15	3
	訪問活動を実施している保健部局との連携	1	0
	高齢者あんしん支援センターの総合相談支援業務等	5	11
	郵送等による基本チェックリストの配布	2	0
	その他	28	13
介護予防給付件数		19,139	19,801
介護予防給付件数のうち3月給付件数		1,610	1,687
実態把握件数*1		1,768	1,203
総合相談件数*2		2,857	8,478
成年後見制度活用件数(平成27年度は、制度活用に繋がった件数)		3	17
老人福祉法措置活用件数		7	1
虐待への対応件数		36	45
困難事例への対応件数		49	80
ケアマネジャーに対する個別支援件数		143	213
地域ケア会議開催件数*3		84	36

\*1 実態把握

- ・二次予防事業への参加者抽出のため、後期高齢者を中心とした実態把握
- ・相談業務(うつ・閉じこもりがちの高齢者、物忘れや体調が気になる方、サービス利用者等)からの実態把握

\*2 総合相談

平成 28 年度 (2016) から延べ相談件数で計上 (新規相談 : 1,918 件、継続相談 : 6,560 件)

相 談 内 容(新規相談内訳)	件 数
介護予防教室に関する事	399
認知症に関する事	138
健康・体に関する事	180
介護保険等のサービスに関する事	629
介護保険以外のサービス	132
成年後見人制度、財産管理等に関する事	33
虐待に関する事	31
家族間トラブルに関する事	53
その他 (経済問題、家庭問題等)	323
合 計	1,918

\*3 地域ケア会議内訳

内 容	件 数
個別ケース会議	34
地域ネットワーク会議	2
合 計	36

個別ケース内容	件 数
認知症	11
近隣トラブル	1
ゴミ屋敷	1
家族問題	8
精神	3
その他 (金銭管理問題、家庭問題等)	10

## ④地域支援事業費の状況

(単位：千円)

事業名	平成 27 年度(2015) 総事業費	平成 28 年度(2016) 総事業費
1. 介護予防事業((1)+(2))	85,881	80,784
(1)二次予防事業	57,599	53,585
通所型介護予防事業	56,824	53,458
訪問型介護予防事業	77	127
介護予防二次予防事業施策評価事業	698	0
(2)一次予防事業	28,282	27,199
介護予防一次予防事業施策評価事業	399	0
介護予防普及啓発事業	5,634	5,679
地域介護予防活動支援事業	22,249	21,520
2. 包括的支援事業・任意事業((1)+(2))	229,352	244,208
(1)包括的支援事業	169,790	187,538
包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	12	8
高齢者あんしん支援センター運営事業	162,149	164,300
認知症総合支援事業	5,753	7,276
在宅医療・介護連携推進事業	1,876	9,248
生活支援体制整備事業	0	6,566
地域ケア会議推進事業	0	140
(2)任意事業	59,562	56,670
介護給付等費用適正化事業	3,921	4,081
家族介護支援事業	211	189
老老介護支援事業	3,260	3,331
成年後見制度利用支援事業	2,661	2,516
認知症グループホーム利用者負担軽減事業	22,137	22,318
認知症サポーター等助成事業	0	140
地域自立生活支援事業	27,372	24,095
合 計 ( 1 + 2 )	315,233	324,992

(6) 高齢者福祉事業

事業名	内容	平成27年度(2015)		平成28年度(2016)	
		利用者数等	実績額	利用者数等	実績額
シルバー人材センター助成事業	シルバー人材センターへの運営費等補助	855人 (会員数)	19,091,000円	887人 (会員数)	16,079,000円
総合社会福祉大会開催事業	総合社会福祉大会を開催し、最高齢者、新百歳、米寿の方々へ記念品を贈呈する。	1,245人 (贈呈者数)	3,170,993円	1,243人 (贈呈者数)	2,663,970円
高齢者クラブ活動助成事業	高齢者クラブ連合会及び単位クラブへの補助	13,635人 (会員数)	18,100,000円	12,881人 (会員数)	18,100,000円
生活管理指導短期宿泊事業	基本的な生活習慣の欠如や対人関係が成立しないなど、社会適応が困難な高齢者の生活習慣等の指導、支援を行う。	0人 0日 (利用延日数)	0円	1人 22日 (利用延日数)	86,196円
高齢者日常生活用具給付事業	要援護高齢者への日常生活用具の給付(自動消火器、電磁調理器)を行う。	6件 (利用件数)	63,532円	1件 (利用件数)	12,380円
緊急通報システム事業	重度の疾患を有する在宅の独居高齢者等に対して緊急通報装置を貸与する。 ※平成28年(2016)3月末で事業廃止	245台 (設置台数)	2,139,823円	—	2,949,229円
緊急通報装置設置補助事業	高齢者独居世帯等が民間警備会社の緊急通報サービスを利用する際に必要な加入・設置費に対し助成を行う。	—	—	32件 (補助件数)	673,000円
在日外国人高齢者福祉手当支給事業	自責なく公的年金を受給できない在日外国人高齢者に対して福祉手当を支給する。(年240千円)	3人 (受給者数)	720,000円	3人 (受給者数)	720,000円
高齢者福祉タクシー事業	公共交通機関の駅、停留所から遠くに居住する高齢者の社会参加等を促進するため、タクシー利用券(年間12千円分)を交付する。(佐田,多伎,斐川地域を除く)	112世帯 (交付世帯数)	1,070,055円	115世帯 (交付世帯数)	1,235,582円
養護老人ホーム入所措置費	環境上及び経済的理由により居宅での養護が困難な高齢者を養護老人ホームに入所措置し、心身の健康の保持及び生活の安定を図る。	1,144人 (延べ入所者数)	197,606,942円	1,093人 (延べ入所者数)	192,064,417円

事業名	内容	平成27年度(2015)		平成28年度(2016)	
		利用者数等	実績額	利用者数等	実績額
老老介護支援事業 〔地域支援事業〕	老老介護世帯及び重度の要介護状態の独居高齢者に対し生活支援サービス利用券を支給し、日常生活上の負担軽減を図る。	176人	3,259,990円	206人	3,331,375円
		(受給者数)		(受給者数)	
成年後見制度利用支援事業 〔地域支援事業〕	成年後見制度利用に係る相談、申立ての援助等 市長による成年後見等の申立 低所得者への申立費用及び後見人等報酬の助成 市民後見推進事業	1件	2,850,638円	2件	2,716,070円
		(市長申立)		(市長申立)	
		6件		6件	
配食サービス事業 〔地域支援事業〕	65歳以上の独居や高齢者のみの世帯で調理が困難な人や、治療食が必要な人で民間事業者の利用が困難な人を対象として、食事を提供する。(利用料 1食411円)	568人	21,881,791円	505人	18,477,234円
		(延べ利用者数)		(延べ利用者数)	
		20,292食		17,089食	
		(食数)	(食数)		
在宅推進サービス事業 (基準額拡大事業)	サービス基準額を超えた部分の自己負担を助成する。 (7割助成、要介護3～5について 1.3倍まで)	9人	2,723,483円	5人	2,430,323円
在宅推進サービス事業 (外泊体験サービス)	病院等への入院者による試験外泊期間中の在宅サービス利用助成 (9割助成)	0人	0円	0人	0円
介護相談員派遣事業 〔地域支援事業〕	介護サービス提供事業所を訪問し、利用者の声を聞くことによりサービスの質的な向上を図る。	12人	4,443,737円	11人	4,511,000円
		(相談員数)		(相談員数)	
		57施設		58施設	
		(訪問施設)		(訪問施設)	

